



まちのわだい

7/20

みんなで守る、きれいな水 水質浄化活動(東網道地区)

東網道地区において、EM菌団子を使った水質浄化活動が行われ、子ども会を中心に、地区住民28人が参加しました。
この活動は東網道地区で15年以上続けているもので、町内でも早い段階で取り組みを始めました。

20日に平野繁喜さん宅で行われたEM菌団子作りでは、水質の浄化作用を持つEM菌を土に混ぜ、それを子どもたちや地区の人たちが手で丸めて団子を作りました。
31日には、菌を繁殖させるため乾燥させた団子を地区の水路などに投入しました。



▲たくさん作ったよ!

7/21

測量設計業者による 氷川河川敷地の 清掃奉仕活動

若洲地区出身の(株)都市開発コンサルタントの下田勝則さんが、ふるさと氷川町に貢献するため測量設計業者へ呼びかけ、氷川河川敷地の除草作業を実施されました。

この取り組みは毎年場所を選定して行われており、今回は河川敷地を利用する地域住民の安全確保と河川環境保全のため、18社55人が参加して浜牟田橋下流で作業されました。
氷川の河川敷地がとてもきれいになりました。



▲清掃作業の様子



▲とつともきれいになりました

7/22

熱闘/真夏の町民体育祭 第13回町民体育祭夏季大会

竜北体育センターにおいて、第13回町民体育祭夏季大会(ふらばーのバレー)を開催しました。
今年は猛暑により、大会当日は熱中症の発症が心配される気象予報が出たため、予定していたグラウンドゴルフ大会は中止とし、ふらばーのバレーのみ実施しました。なおグラウンドゴルフ大会は、冬季大会での実施を検討しています。

今年で3回目となるふらばーのバレーは、予想外の方向へ跳ねるボールを仲間同士で声を掛け合いながらレシーブするなど、各コートで熱戦が繰り広げられました。

大会結果		
【ふらばーのバレー大会】		
優勝	有佐	地区館
準優勝	東網道	地区館
3位	樽	地区館



▲優勝した有佐地区のみなさん



▲熱戦の連続

8/1

工事の安全を願って

働く保護者の子育て支援をするための病児・病後児保育施設整備事業として「八代北部地域病児病後児保育センターひかわ(仮)」を整備するにあたり、工事の安全祈願祭が開催されました。

子ども・子育て支援事業計画策定時のニーズ調査で「女性の社会進出や核家族世帯の増加などにより、子どもが病気の時は仕事を休むことが多い」という調査結果が出ており、病児・病後児保育サービスが必要としている保護者が多くいます。
来年3月の完成に向けて、施設の整備を進めていきます。



▲工事の安全を祈ります

50年に一度しか咲かない花 が咲きました

50年に一度しか花を付けないという「リュウゼツラン」が高崎紀元さん宅(立神)の庭先で咲きました。

数十年前に高崎さんのお父様が持ち帰って以来、これまで咲いたことがありませんでしたが、5月中旬ごろから幹が毎日10cmほど伸びるようになり、6mを超える高さになって花が咲きました。

その後7月3日に接近した台風7号の影響で一度倒れてしまいましたが、地区の皆さんの協力のもと立て直しました。
残念ながら現在は枯れてしまいましたが、貴重な光景でした。



▲立派に育ちました

氷川町・水俣市・芦北町・津奈木町の1市3町が税の併 任徴収の協定を締結しまし た。

平成29年度から、氷川町・水俣市・芦北町・津奈木町の1市3町が協力し、市町税の徴収向上および徴収技術の向上を図ることを目的として、税の併任徴収の協定を結んでいます。

今年度も協定が結ばれ、役場庁議室で辞令交付式を執り行いました。

藤本町長から併任職員となる15名の税職員(水俣市6名、芦北町4名、津奈木町5名)に対して辞令を交付しました。

今後は協定を結んだ1市3町間で併任職員を相互に派遣し、派遣先市町の身分で差押えや公売等の業務を行い、また、徴収業務内容に関する情報交換を行うことで、税徴収業務の強化を図る取り組みを行っていきます。

7/20

熊本県中学校総合体 育大会出場者激励会

役場大会議室にて県中学校総合体育大会出場者の激励会を行い、藤本町長が選手たちに激励の言葉を贈るとともに報奨金を手渡しました。
出場者については次のとおりです。

竜北中学校

【種目】
柔道(男子個人)

【出場者】
中居 郁弥さん(1年・新田)



▲中居 郁弥さん

【種目】
卓球(男子個人)

【出場者】
山下 幸也さん(2年・上鹿島)



▲山下 幸也さん